

平成28年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール研究実施報告（第2年次）（概要）

1 研究開発課題	<p>Think Globally, Act Glocally. ～世界ハ我市場ナリ～  職業バカロレアとアクティブラーニングによる  世界を視野に地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材の育成</p>		
2 研究の概要	<p>世界を視野に、地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材を育成するため、以下の研究を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 フランスの職業バカロレアの出題形式を取り入れた学習指導の研究・実践を通して、専門性を定着させ、分析力・思考力・判断力・表現力を育成する。</li> <li>2 専門性を活かしたアクティブラーニングを実施することにより、応用力・活用力を養うとともに、他専門領域にも関心を持ち、生涯にわたって学び続けるプロフェッショナルな人材を育成する。</li> <li>3 企業等での長期間にわたる勤労実習（ジョブチャレンジ）により、確かな勤労観・職業観と専門性を活かした職業に対する意欲を持ち、実践力のある人材を育成する。</li> <li>4 商品の輸出入、外国での販売実習・インターンシップ、外国人向けの観光に関する実践活動等により、異文化を理解し、日本や名古屋の文化・伝統を理解するグローバルなビジネスを積極的に取り組む姿勢を持つ人材を育成する。</li> <li>5 地域の資源・伝統産業をベースにした商品開発、イベントの企画・運営等の学習により、地域の活性化を図るビジネスを創造し、地域に貢献できる人材を育成する。</li> </ol>		
3 平成28年度実施規模	<p>1年全学級、2年全学科、3年全学科を対象として実施した。</p>		
4 研究内容	<p>○研究計画（指定期間満了まで。5年指定校は5年次まで記載。）</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 1272 323 2047">第1年次</td> <td data-bbox="323 1272 1436 2047"> <ul style="list-style-type: none"> <li>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</li> <li>・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究</li> <li>・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究</li> <li>【商品開発に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究</li> <li>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・台湾でのビジネス実習に必要な最低限の中国語会話の学習に関する学習内容、教材、指導法の研究</li> <li>・グローバルビジネスで必要とされる英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習内容、教材、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>・東南アジアの経済事情に関する学習用の教材及び外部機関との連携の在り方に関</li> </ul> </td> </tr> </table>	第1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</li> <li>・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究</li> <li>・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究</li> <li>【商品開発に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究</li> <li>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・台湾でのビジネス実習に必要な最低限の中国語会話の学習に関する学習内容、教材、指導法の研究</li> <li>・グローバルビジネスで必要とされる英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習内容、教材、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>・東南アジアの経済事情に関する学習用の教材及び外部機関との連携の在り方に関</li> </ul>
第1年次	<ul style="list-style-type: none"> <li>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</li> <li>・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導の予備的な研究</li> <li>・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究</li> <li>【商品開発に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の学習内容、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・地域活性化のためのイベントの企画・運営の学習内容、指導法、外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>【国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の学習内容・指導法の研究</li> <li>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導】</li> <li>・台湾でのビジネス実習に必要な最低限の中国語会話の学習に関する学習内容、教材、指導法の研究</li> <li>・グローバルビジネスで必要とされる英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習内容、教材、指導法及び外部機関との連携の在り方の研究</li> <li>・東南アジアの経済事情に関する学習用の教材及び外部機関との連携の在り方に関</li> </ul>		

	<p>する研究</p> <p>【ケースメソッドを取り入れた学習指導の学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業財務分析をテーマとしたケースメソッドの学習内容及び指導法の研究</li> <li>・国際会計をテーマとしたケースメソッドの教材及び指導法に関する予備的な研究</li> </ul> <p>【ジョブチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の勤労実習の第2年次での試行実施に向けた予備的な研究</li> </ul>
第2年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年「簿記」、2年「財務会計Ⅰ」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導及び評価法・評価規準の研究</li> <li>・2年「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導と評価法・評価規準の研究</li> <li>・1年「情報処理」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習の教材と指導法の予備的な研究</li> </ul> <p>【商品開発に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のためのイベントの企画・運営の評価法・評価規準の研究</li> <li>・生徒による出張授業の第3年次実施に向けた予備的な研究</li> </ul> <p>【国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾でのビジネス実習に必要な中国語会話に関する学習内容、教材、指導法及び評価法・評価規準の研究</li> <li>・ビジネス英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習の評価法・評価規準及び東南アジアの経済事情に関する学習内容、指導法の研究</li> <li>・外国人向けの名古屋観光案内の作成・ツアーガイド実習の学習内容、指導法の研究</li> <li>・最終年次に実施予定の「ワールドバザール」の企画と実施要項の作成</li> </ul> <p>【ケースメソッドを取り入れた学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業財務分析をテーマとしたケースメソッドの評価法の研究</li> <li>・国際会計をテーマとしたケースメソッドの指導法・教材及び指導法の研究</li> </ul> <p>【ジョブチャレンジ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期の勤労実習の試行実施における事前指導及び事後指導、実習中の監督に関する研究</li> </ul>
第3年次	<p>【職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年「簿記」・「情報処理」、2年「財務会計Ⅰ」・「プログラミング」における職業バカロレアの試験手法を用いた学習指導及び評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【商品開発に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業との連携による和菓子・紙布の商品開発の評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化のためのイベントの企画・運営及び生徒の出張授業の評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「国際テレビ会議システムを活用した交流授業」、「英語によるプレゼンテーション大会参加」及び「外国人留学生との交流」の評価法・評価規準の研究</li> </ul> <p>【グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国語会話・ビジネス英会話・貿易取引に関する実務・外国でのビジネスマナー・東南アジアの経済事情に関する学習、外国人向けの名古屋観光案内・Webの作成及びツアーガイド実習の指導法、評価法・評価規準の研究</li> <li>・「ワールドバザール」の学習内容・指導法の研究</li> </ul>

【ケースメソッドを取り入れた学習指導】

・企業財務分析、国際会計をテーマとしたケースメソッドの指導法・評価法の研究

【ジョブチャレンジ】

・長期の勤労実習の教育的効果に関する研究

○教育課程上の特例（該当ある場合のみ）

無 し

○平成28年度の教育課程の内容（平成28年度教育課程表を含めること）

本校では、1年次は生徒全員が共通に履修し、2年次より商業科、情報処理科、国際経済科の3学科に分かれて学習を進める。また、商業科には流通ビジネスコース、会計ビジネスコース、オフィスビジネスコースの3コースを設けている。（別紙「平成28年度教育課程表」参照）

○具体的な研究事項・活動内容

本校のSPH事業は「世界を視野に、地域で貢献し、ビジネスを創造・構築できる人材を育成する」ためには、商業科目においてどのような指導を行うことが適切であるかを研究することを目的として計画した。本年度は、商業科目の中に「職業バカロレアの試験手法」・「アクティブラーニング」を取り入れ、それらの学習の商業科目での位置付け、指導法、評価に関する研究を行った。また、長期の勤労実習に関しては、法的な課題、事前・事後の指導に関する調査・研究を行った。各研究の概要は次のとおりである。

1 職業バカロレアの試験・評価法を活用した学習指導

(1) 実施状況

① 職員向け研修の実施

・1年「簿記」、「情報処理」の教科担任を中心に、職業バカロレアの試験手法を導入した学習の実施時期・内容及び評価法に関する研修を7月、9月、11月に実施した。

② 『プログラミング』

[研究内容]

・職業バカロレアの試験手法を導入した授業に適切な教材及び指導法、評価法の研究

[活動内容]

・7月、12月に、職業バカロレアの出題意図・形式に沿った手法による授業を実施した。

③ 『簿記』

[研究内容]

・1年全学級で実施し、職業バカロレアの試験手法を用いた授業の実施時期、学習テーマ、教材、指導法の研究

[活動内容]

・全学級実施に向け、1学級において5月、6月、10月に試行的に授業を実施した。  
・『簿記』の教科担任会を開催し、試行授業の結果を報告し、全学級での実施時期・学習内容・教材・評価に関して協議を行った。  
・11月から12月にかけて、1年全学級において2つ学習テーマにより、職業バカロレアの手法による授業を実施し、授業の成果・課題に関して協議した。

④ 『情報処理』

[研究内容]

・来年度1年全学級での実施を目的とした職業バカロレアの試験手法を用いた授業の実施時期、学習テーマ、教材、指導法及び評価に関する研究と1学級における試行実施

[活動内容]

・12月に3回の試行授業実施し、授業の成果と課題、評価法に関して検討するとともに、次年度の全学級実施に向け準備を進めた。

⑤ 『財務会計Ⅰ』

[研究内容]

・各単元の学習時点での授業展開、指導法、評価に関する研究

[活動内容]

・1、2学期において、各単元の学習を終えた後、学習した専門的な知識を理解し、活用できるかを確認する学習をグループ学習により実施した。

(2) 協力機関

近畿大学

2 アクティブラーニングを導入した「商品開発」に関する学習指導

(1) 実施状況

① 和菓子の商品開発

[研究内容]

- ・商品開発をテーマとしたアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材、協力機関との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・商品開発のアクティブラーニングとして、ブレインストーミング、マインドマップ、KJ法、販売実習、販売分析と発表等の学習を実施した。
- ・実習として、8月に名古屋三越の常設テナント・愛知県商業教育フェア、10月にお菓子フェア2016で販売実習、10月に個別商談会を行った。

② 紙布による商品開発

[研究内容]

- ・「ビジネスクラブ」において、商品開発をテーマとしたアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材、協力機関との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・ターゲットとする顧客層を想定した鞆のデザインの考案と鞆の図面作成、図面に基づく鞆の型紙の作成とサンプルの作成と改良、サンプルに基づく試作品の作成依頼と試作品の問題点の検討及び改善点の整理といった一連の学習をアクティブラーニングにより行った。
- ・本校が取得した商標「s i f u」のブランドを効果的に活用する方策、ポータルサイト、インターネット上の販売、パブリシティ活動に関して生徒により調査・研究を行った。

(2) 協力機関

御菓子司不老園、いちい信用金庫、株式会社名古屋三越、菓匠花桔梗

SALLY LABEL株式会社、美濃竹紙工房、有松絞会館、まり木綿

3 地域への貢献に関するアクティブラーニングの学習指導

(1) 実施状況

[研究内容]

- ・地域の活性化について主体的に考え、行動できる人材の育成を目的とした地域貢献に関するアクティブラーニングの学習内容、指導法、協力機関との連携や他の学科・コースとの連携の在り方に関する研究

[活動内容]

① 地域商店街の活性化のためのイベントに関するアクティブラーニング

- ・4月より1月まで、地域貢献をテーマとする愛知工業大学のゼミナール「地域共創講座」に生徒が参加し、大学生と共に地域貢献に関する調査・研究を行った。
- ・生徒により、地域のショッピングマップ作成・地域イベントの企画を提案し、地域マップの作成、地域イベントの企画を行った。
- ・地域貢献に関する調査・研究や取り組みを研究報告書とプレゼンテーション原稿にまとめ、A I Tサイエンス大賞に応募し、「社会科学・地域づくり部門」で優秀賞を受賞した。

② 生徒による出張授業

- ・小中学校での教育課題の検討、出張授業の設定、小学校で開催されるイベントへの参加、授業の計画立案等の学習を行った後、小学校において生徒による出張授業を実施した。

(2) 協力機関

・愛知工業大学、名古屋文理大学、名古屋市立自由ヶ丘小学校、自由ヶ丘商店街

4 国際交流に関するアクティブラーニングの学習指導

(1) 実施状況

① 国際テレビ会議システムを活用した交流授業

[研究内容]

- ・国際TV会議システムを活用した交流授業の学習内容、指導法、実施時期に関する研究

[活動内容]

- ・6月にオーストラリアの高校2校と、12月にオーストラリアの高校と交流授業を実施し

た。

## ② 英語によるプレゼンテーション大会への参加

[研究内容]

- ・2年国際経済科『国際交流実習』、3年国際経済科『総合実践』における「英語によるプレゼンテーション大会への参加」に関するアクティブラーニングの学習内容、指導法、教材に関する研究

[活動内容]

- ・国際テレビ会議システムを活用して、高雄高級商業職業学校生徒と共同研究を行う。
- ・タブレットPCを活用して、研究した内容をまとめる。
- ・台湾での「International Conference（4月）」・「Asian Students Exchange Program（12月）」、日本福祉大学での「World Youth Meeting（8月）」において、外国の高校生と共同発表を行った。また、「愛知県公立学校商業教育フェア（8月）」において、日本福祉大学で発表した内容を本校生徒のみで発表した。

## ③ 外国人留学生との交流プログラム

[研究内容]

- ・異文化理解の深化と英語・中国語会話の活用・コミュニケーション能力の向上を目的とした外国人留学生との交流事業の在り方、交流内容、指導法に関する研究

[活動内容]

- ・日本や名古屋の文化を研究し、説明用のプレゼンテーション資料を作成し、オーストラリア（4月）、中国（10月）、台湾（11月）の高校生との交流プログラムを実施した。

## (2) 協力機関

チェリーブルック工科高等学校（オーストラリア・シドニー）

日本福祉大学、高雄市立高雄高級商業職業学校（台湾・高雄）

高雄市立中正高級工業職業学校（台湾・高雄）、名古屋観光コンベンションビューロー

## 5 グローバルビジネスに関するアクティブラーニングの学習指導

### (1) 実施状況

#### ① 中国語会話の学習

[研究内容]

- ・「国際交流実習」（国際経済科2年）、「課題研究」（国際経済科3年）において、協力機関からの講師の招聘と既存の中国語会話ソフトの活用による中国語会話の指導法、協力機関との連携の在り方に関する研究。

[活動内容]

- ・協力機関より派遣された講師による中国語会話の学習
- ・中国語会話ソフトを活用した中国語会話の学習
- ・協力機関より派遣された講師との中国語会話の教材と指導法の研究

#### ② ビジネス英語・グローバルビジネスの実務の学習

- ・「ビジネス実務」（国際経済科2年）、「広告と販売促進」（商業科流通ビジネスコース2年）において、協力機関より講師を招聘し、英会話、貿易取引に関する実務や外国でのビジネスマナーに関する学習を実施した。

#### ③ 東南アジアのビジネスに関する学習

- ・東南アジア（マレーシア）に職員を派遣し、マレーシアの製造業、学校事情を視察し、学校間連携（商品の共同開発等）について協議し、11月に姉妹校提携調印を行った。
- ・「広告と販売促進」（商業科流通ビジネスコース2年）において、東南アジアの経済事情に関する学習を、協力機関より講師を招聘し、授業を実施した。

### (2) 協力機関

愛知文教大学

## 6 ケースメソッドを取り入れた学習指導

### (1) 実施状況

[研究内容]

- ・ケースメソッドを取り入れた授業の教材の開発、指導法及び大学との連携の在り方に関する研究

[活動内容]

- ・SPHケースメソッド協力会議を協力機関である大学において実施し、ケースメソッドの教材、指導法、学習計画に関して協議を実施した。
- ・商業科会計ビジネスコース3年「財務会計Ⅱ」において、両大学の協力のもと、「企業財務会計」および「国際会計」に関するケースメソッドを取り入れたグループ学習を実施した。

(2) 協力機関

- ・愛知大学、名古屋商科大学

7 ジョブチャレンジに関する研究

(1) 実施状況

[研究内容]

- ・長期間の勤労実習における、学校と企業との連携の在り方、事前・事後指導における学校と企業との指導内容の分担、実習中の企業・学校の指導・監督の在り方、有給で実施する場合の課題等に関する研究

[活動内容]

- ・高校生の有償での長期勤労実習の労働関係法規上の課題に関して、公共職業安定所、愛知労働局で聞き取り調査を実施した。
- ・高校生が有償で勤労実習を実施する場合、生徒・保護者と雇用主との間で結ぶべき各種書類（雇用、就労、秘密保持等）に関して研究を行った。
- ・長期勤労実習に必要な事前指導及び事後指導に関する学習内容・指導法に関する研究を行った。

(2) 協力機関

- ・名古屋商工会議所、名古屋税理士会

5 研究の成果と課題

○実施による効果とその評価

- ・計画の一部を若干変更したが、概ね当初の計画とおりに事業は進行している。
- ・事業の多くを商業科の科目または学校設定科目の指導計画に組み入れ、商業科の学びの中で生徒がアクティブラーニングを行うよう工夫した。
- ・職業バカロレア及びアクティブラーニングの学習内容を商業科目の中で、実施時期、学習内容、指導法に関する研究を実施した。
- ・昨年度と同様であったが、職業バカロレア及びアクティブラーニングを授業に導入した授業は、通常の講義式の授業に比し、いずれも生徒の学習意欲、満足度を向上させるものであり、これらの学習を授業に取り入れることは指導上有益であることが再確認できた。
- ・本校SPH事業の各分野とも、協力機関との連携が進み、商業科目の学習の中に協力機関との連携による授業を組み入れることができ、従前に比し学問的、実務的な学習を行うことができた。
- ・各分野とも学習の評価に関する研究を進め、ルーブリック評価に基づく、自己評価、生徒による相互評価、ルーブリックにおける評価項目や評価規準の検討が実施できた。

○実施上の問題点と今後の課題

- ・個々のアクティブラーニングにおいて、それぞれに明確化した育む能力がどの程度育成されたかを評価の規準とした評価法・評価規準の研究を進めたが、学校全体としての統一した評価法には至っておらず、次年度は学校全体としての統一したルーブリックの在り方に関して研究を行う必要がある。
- ・生徒の学習経過、各分野で目的とした育む能力の成長度を評価するポートフォリオ評価の研究が十分に行うことができなかつた。次年度においては、生徒の学習記録を含む評価についても研究が必要である。
- ・ジョブチャレンジでは、関係団体の指導・助言を得て、2週間程度の長期勤労実習を実施することが可能であることが確認できたが、更に法的な課題の検討を行う必要がある。また、事前指導・事後指導の内容、学校・企業の指導の在り方・評価に関する研究を行う。